

(様式例)

社会資本総合整備計画（移行済）事後評価書

平成31年 3月 6日

計画の名称	市街地における安全・安心な移動環境の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成26年度～平成27年度（2年間）	交付対象	高松市
計画の目標			

歩行者・自転車・自動車が安全かつ安心して歩行・走行できる道路整備を行うことで、コンパクトエコシティの形成に向けた中心市街地における円滑な移動環境の構築を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

一定幅員を確保した歩道の整備率

定量的指標の定義及び算定式

歩道の整備率
(歩道整備率) = 歩道整備済延長 / 歩道整備計画延長

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H26当初)	(H28末)	(H30末)

28%	60%	100%
-----	-----	------

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	204 百万円	A	204 百万円	B	- 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%
-------	------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

平成31年2月28日

高松市都市整備局道路整備課において実施

公表の方法

高松市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-A1-1	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 高松海岸線 (玉藻工区)	道路拡幅 L=0.65km	高松市	■	■	■	■	■	67	H28社総金へ移行
1-A1-2	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 高松海岸線 (屋島工区)	道路拡幅 L=0.29km	高松市	■	■	■	■	■	129	H28社総金へ移行
1-A1-3	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 木太鬼無線 (三条工区)	バイパス L=0.67km	高松市	■	■	■	■	■	5	H27社総金へ移行
1-A1-4	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 木太鬼無線 (木太工区)	バイパス L=0.23km	高松市	■	■	■	■	■	0	H27社総金へ移行
1-A1-5	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 栗林上福岡線 (栗林工区)	道路拡幅 L=0.26km	高松市	■	■	■	■	■	0	H27防安全へ移行
1-A1-6	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築 (都) 兵庫町西通町線	道路拡幅 L=0.18km	高松市	■	■	■	■	■	3	H28社総金へ移行
											小計（街路事業）			204		
											合計			204		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する</p> <p>交付対象事業の効果の発現状況</p>		<p>中心市街地の都市計画道路において、用地買収、物件補償、道路改良等を実施し、円滑な移動環境の構築を図った。</p>			
<p>II 定量的指標の達成状況</p>		<p>最終目標値</p>	<p>100%</p>	<p>目標値と実績値に差異が出た要因</p>	<p>本計画の全ての交付対象事業が、平成28年度までに別計画に移行し、移行後の平成29年4月に（都）高松海岸線（屋島工区）の道路拡幅L=0.29kmが供用され、移行後の供用を含めた平成30年度末の最終実績値は「54%」となっている。予算確保が十分でなかった等のため、進捗が遅れている路線もあるが、整備完了に向け引き続き尽力する。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>54%</p>		
		<p>最終目標値</p>		<p>目標値と実績値に差異が出た要因</p>	
		<p>最終実績値</p>			
<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況</p> <p>(必要に応じて記述)</p>					
<p>3. 特記事項（今後の方針等）</p>					
<p>平成28年度からは、移行した別計画にて、引き続き、歩行者・自転車・自動車が安全かつ安心して歩行・走行できる道路整備を行うとともに、円滑で安全な走行を確保し、生活環境の向上を図る。</p>					

(参考図面) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市街地における安全・安心な移動環境の整備 (防災・安全)	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付団体 高松市

